



2023-24年度RI会長
ゴードンR. マッキナリー
第2640地区ガバナー：谷 宗光
田辺東ロータリークラブ
創立：昭和49年5月15日



世界に希望を生み出そう

例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10
きのくに信用金庫田辺支店3F
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
http://tanabe-east-rc.com/
E-mail info@tanabe-east-rc.com

○会長報告

会長 谷本 司



■本日のお客様は、和歌山大学紀伊半島価値共創基幹特任教授、和歌山大学南紀熊野サテライト代表小川 雅則（おがわ まさのり）様
和歌山大学南紀熊野サテライト、地域連携コーディネーター 西中 亮人（にしなか りょうと）様です。後ほど宜しく願いたします。

■3月6日(水)例会終了後、新庄総合公園に於いて「50周年記念事業」クマノザクラ記念植樹が行われました。大変寒い中の開催となりましたが、新庄第二小学校の先生・児童の皆さん、田辺市役所、また樹木医の矢倉寛之氏とともに計6本の苗木を植樹することができました。記念事業委員長をはじめ事業委員会、ご参加いただいた皆さんありがとうございました。

■3月9日(土)13:00～けやきONE401に於いて、第9回ガバナー補佐・幹事合同会議が開催され、岡本ガバナー補佐が出席されました。お疲れさまでございました。

○幹事報告

幹事 西谷 貞彦



■例会日時変更

◎和歌山北RC
3月18日(月)→夜間例会18:30～
中国料理「詩仙」和歌山市雑賀町111

■メイクアップ

◎3月6日(水)クマノザクラ記念植樹
畑地誠君、泉房次朗君、片井貢君、樫木正和君、中嶋伸和君、西谷貞彦君、岡本博君、大野翼君、佐田一三君、坂本正人君、竹中悟君、玉置佳範君、

■3月10日(日)白浜ゴルフ倶楽部に於いて「50周年記念ゴルフ大会」を無事開催することができました。幸い天候にも恵まれ、絶好の日和のなか67名の皆さんにプレーを楽しんでいただくことができました。記念事業委員長をはじめゴルフ委員会、またお手伝いくださった皆さん朝早くからありがとうございました。いよいよ5月25日(土)には、50周年記念例会も控えておりますので、会員の皆さん一丸となって盛り上げていきましょう。よろしく願いたします。

■3月10日(日)10:30～ホテルアパローム紀の国に於いて「2024-2025年度のためのPETS(会長エレクト研修セミナー)」が開催され、次期会長の渡口君に出席していただきました。ご苦労様でした。

■丸山博之会員より「創立50周年記念」として寄贈いただいた「ロータリー旗」を本日より例会場にてお披露目いたしております。

■本日例会終了後、定例理事会を開催します。理事・役員の方はご出席くださいますようお願いいたします。

■本日のお弁当は「割烹 たか木」さんです。ご賞味ください。



谷本司君、谷中順次郎君、上原俊宏君、山本亘君

◎3月9日(土)ガバナー補佐会議

岡本博君

◎3月10日(日)会長エレクト研修セミナー(PETS)

渡口眞二君

◎3月10日(日)50周年記念ゴルフ大会

畑地誠君、本田耕二君、武田静也君、橋本隆君、西谷貞彦君、坂本正人君、野村憲司君、平林圭介君、畔田実君、塚原健君、佐田一三君、山本亘君、岡本博君、玉置佳範君

■回覧

◎週報「田辺はまゆうRC」

◎谷ガバナー事務所より

「ポリオプラス・ソサエティのご案内」

「青少年交換長期派遣学生募集のご案内」

○幹事報告続き

■回覧

- ◎社会福祉法人 やおき後援会「やおきジャーナル」
- ◎新庄第二小学校「クマノザクラ授業挨拶ファイル」
- ◎田辺・西牟婁学童野球協議会「2024年学童野球クラブ名簿」

◎田辺市役所新庁舎準備室

「新庁舎完成記念式典のご案内」

■連絡

- ◎令和6年能登半島地震の募金箱を3月いっぱい設置しておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

○本日のお客様

和歌山大学紀伊半島価値共創基幹特任教授

和歌山大学南紀熊野サテライト代表

小川 雅則 様

和歌山大学南紀熊野サテライト地域連携コーディネーター

西中 亮人 様



○唱歌

「贈る言葉」

唱歌 岩崎 泰人 君



○出席報告

会員数 35名

義務免除 3名

本日の欠席者

10名 本日の出席率 69.7 %



創立50周年記念

ロータリー旗

丸山博之会員より

○にこにこ報告 (敬称略)

◇～和歌山大学熊野南紀サテライト

代表 小川雅則様、西中亮人様をお迎えして～
愛須勝章、泉房次朗、上原俊宏、岡本博、武田静也、
竹中悟、竹村英一、谷本司、玉置佳範、中嶋伸和、
西谷貞彦、野村憲司、平林圭介、山本亘、吉田和枝

◇先日50周年事業のクマノザクラ植樹祭が無事終了致しました。我がクラブからも大勢参加していただき、ありがとうございました。この一年間に根付くかどうか、勝負所と思います。新庄総合公園に行く機会があれば、見に行ってみてください。 坂本正人

◇50周年記念コンペ、強風のお陰で2位になりました。 本田耕二

◇異動発令はなく、続投します。田辺で4年目に突入です。引き続きお世話になります。 真下京

◇お花いただきます。

森本修至

☆本日も沢山のニコニコありがとうございました。

○本日のプログラム

和歌山大学紀伊半島価値共創基幹特任教授

和歌山大学南紀熊野サテライト代表

小川 雅則 様



このたびは、田辺東ロータリークラブ例会にお招きをいただきありがとうございます。本日は、「和歌山大学南紀熊野サテライトを拠点とした地域と大学の連携」について、お話をさせていただきます。

最初に、和歌山大学の概要につきましてご説明させていただきます。和歌山大学は4つの学部（教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部）と1つの学環（社会インフォマティクス学環）からなる近畿南部の中核をなす総合大学です。学生数は、学部と大学院を合わせて約4,500人在籍しています。出身地域別にみますと、概ね和歌山県が30%、近畿地方（和歌山県除く）が50%、全国（近畿地方除く）が20%の割合となっています。

○本日のプログラム

大学の責務は「教育」、すなわち人材の育成です。大学の学びは単に教育課程で学ぶことによって得られる知識や技能にとどまらず、自発的で創造的な学び、社会を創る学び、インターナショナルな学び、地域での学びなど様々な学びがあります。

その中で、私が所属している紀伊半島価値共創基幹(愛称:Kii-Plus 令和2年4月設置)では、紀伊半島が抱える課題の解決と地域の事業発展について、研究成果の提供にとどまらず、自治体・企業・市民団体等との「共創」を通じた教育研究の展開により、地域社会の発展に寄与することを目的に様々な活動を展開しています。

具体的な取り組みを5点紹介します。1点目は、本学学長と市町村長との直接対話です。本学の圏域を、和歌山県内30市町村と大阪府岸和田市以南8市町とし、38自治体を毎年訪問しています。大学からは、大学の地域連携の取組について紹介するとともに、自治体からは、地域の課題やニーズ、大学への要望等をお聞かせいただいています。この取り組みによって、自治体から見る大学の敷居が低くなるとともに、気軽に相談できる関係性が構築されています。

2点目は、自治体・各種機関との連携協定の締結です。これまでの大学と地域の連携については、ややもすれば大学目線で調査や研究のフィールドとして地域に入るケースが多かったと思います。こうした連携のあり方では研究が終わったり、担当教員が他大学に移られたら大学と地域の関係性はその時点で途絶えていました。そこで、属人的な連携から、組織的、持続的な連携にするために、連携協定の締結を進めています。すでに田辺市との連携協定は済ませています。

3点目は、地域からの相談窓口機能の一元化です。Kii-Plusが出来るまでは全学的な相談窓口は無く、知り合いの先生を通じての相談が多く、相談案件に組織的に対応できていませんでした。この相談窓口機能を一元化したことにより、相談件数が毎年増加しています。(R2→R3 55%増、R3→R4 15%増)

4点目は、地域との交流・共創事業等の推進です。大学の研究員制度に「価値共創研究員」があります。地域や企業の課題を大学に持ち込んでいただき、その課題をテーマに研究されている教員の指導を受けながら、調査や研究に取組み、その成果を派遣元に持ち帰り社会実装していく制度です。現在、田辺市からは上秋津地域づくり協議会から1名派遣いただいています。

その外にも、ふるさと納税返礼品の充実を考えられていた紀の川市との共創事業では、学生が地域に入り、学生の斬新な視点や柔軟なアイデアを結び付け、「紀の川お野菜まごころ便」として商品化したケースもあります。

5点目は、社会実装教育研究プロジェクトの展開です。阪神百貨店との共創事業として、和歌山県内の美味しい商品を学生目線でセレクトし梅田本店で9日間販売する取り組みです。学生が生産者のもとを訪問し、商品づくりへの想いや、商品の特色を勉強し、お店に代わり学生自ら商品を販売しました。

受講するには

- 申込み詳細は募集要項をご覧ください。
- 募集要項は和歌山県立情報交流センターBig-Uに配架。HPからダウンロードもできます。
- 記載内容は都合により変更する場合があります。詳しくは南紀熊野サテライトまでお問合せください。
- 高校生(1~3年生)は「大学授業の公開制度」を利用できます。



お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9
和歌山県立情報交流センターBig-U 102号室

開室時間
10:00~17:00
(日曜・月曜・祝日休み)

TEL 0739-23-3977 FAX 0739-23-3978

https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/
nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp



▶自動車でお越しの方 大阪方面から約2時間30分
松原JCTから阪和自動車道を和歌山方面へ、
南紀田辺ICを降りて国道42号線を白浜方面へ。
▶JRでお越しの方 新大阪より約2時間30分
新大塚駅・天王寺駅からJR特急(くらしお)にてJR白浜
駅下車。タクシーにて約5分。

和歌山大学南紀熊野サテライトとは？

『和歌山大学南紀熊野サテライト』は和歌山大学が和歌山県や紀南地域の11市町村等が連携して、田辺市の和歌山県立情報交流センターBig-U(ビッグユー)内に2005年に開設しました。南紀熊野地域の活性化・文化向上を目的とし、機能を活用して、地域のニーズにあった様々な高等教育及び生涯学習・地域連携事業、大学の地域での教育・研究活動の推進や地域での報告会、研究会の開催など地域の知の拠点として活動しています。

和歌山大学 南紀熊野サテライト

4つの取り組み

南紀熊野サテライトではミッションに合わせて
大きく4つの事業を推進しています。

1 高等教育事業

和歌山大学が有する高等教育機能を活用して、地域課題の探求及び社会人の学びなおしやスキルアップなど、多様な学習ニーズに即した「学部開放授業」と「大学院授業」の開講を行っています。



2 地域研究・学生支援

サテライトでは、本学教員や学生に対し、紀南地域における地域交流活動の支援や地域情報の提供を行っています。また、研究会・学会・現地報告会等の支援をはじめ、活動成果の発信・授業化・社会実装を行うことで、紀南地域の活性化に取り組んでいます。

田辺祭調査



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

○本日のプログラム

次に、田辺市新庄町の和歌山県情報交流センター内に設置されている、和歌山大学南紀熊野サテライトの取組についてご説明させていただきます。南紀熊野サテライトは、和歌山大学が和歌山県や紀南地域の11市町村、田辺商工会議所と連携し、紀南地域の活性化、文化の向上を目指して平成17年に開設しました。活動の目的は大きく3点あります。1点目は、紀南の地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」を目指すこと。2点目は、住民自ら地域を見つめ、自立した地域の主体者となる人材育成を支援すること。3点目は、地域に支えられ、共に発展する「新しい知の拠点」を目指すことです。

南紀熊野サテライトの運営にあたっては、和歌山県、紀南地域の11市町村、田辺商工会議所からなる南紀熊野サテライト連携協議会において、方針を決めています。主な取り組みとして、4点紹介します。1点目は、高等教育事業の実施です。南紀熊野サテライトでは、本学の正規の授業（大学院授業、学部開放授業）を開講しています。学部開放授業には、高校生の参加も可能となり、授業によっては大学生、高校生、社会人が一緒に学んでいます。また、学部開放授業では、地域と連携し、座学、演習、フィールドワークを取り入れ、「南紀熊野の自然」や、「南紀熊野ジオパークの自然と風土」の授業では実際に田辺市ひき岩群や、すさみ町江須崎・枯木灘、串本町橋杭岩、白浜町番所山などを観察し、紀南地域の自然の豊かさを学びました。

2点目は、地域研究・学生支援です。本学の教員や学生に対し、紀南地域における地域交流活動の支援や、地域情報の提供を行っています。田辺祭の調査研究は、ここ数年継続して行っており、高齢化や人口減少に伴う担い手不足、資金面での課題などを学生が実際に参加しながら学生の視点で調査しています。

3点目は、公開講座です。大学教員の研究の一端をご紹介させていただく場として、カフェ形式で気軽に参加できる「なんくまカフェ」を開催しています。今年度は、高校生を対象としたビジネス講座や、田辺祭の調査報告、地域の魅力の見つけ方、発信の仕方などの講座を開催しました。

4点目は、地域の人材育成です。持続可能な地域経営を考えて、次世代の観光産業のリーダーとなる人材育成を目的に毎年「南紀熊野観光塾」を開講しています。世界トップレベルの観光ノウハウを各地に広めている観光カリスマ山田桂一郎氏（南紀熊野サテライト客員教授）を塾長に、第一線で活躍されている研究者や実務家を講師に迎えています。これまで、300人を超える卒業生を輩出し、紀南地域で中核人材となって活躍されている方

も多くいます。

ここまで、和歌山大学紀伊半島価値共創基幹と南紀熊野サテライトの取り組みを説明しましたが、共通する地域連携のキーワードは、「共創」です。私が考える「共創」とは、多様な立場の人達と進め、新しい価値を共に創り上げながら社会的インパクトを創出すること。また、大学単独で進めるのではなく、地域からもヒト、モノ、労力を出してもらい、共に取り組むこと。そのゴールは、持続可能に継続できる仕組みづくりと人材育成を目指すことと考えています。

「共創」による地域との取り組みを進め、学生が育ち、教職員が育ち、地域が共に育つ大学を目指しています。今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3 公開講座



高等教育授業の受講促進のために「オープンキャンパスセミナー」を例年開催しています。また、夕方の仕事終わりに気軽に参加できる講座として参加者と研究者が気軽に語りあえる「なんくまカフェ」を開催しています。



4 人材育成

持続可能な地域経営を考えて、次世代の観光産業のリーダーとなる人材育成を目的に「南紀熊野観光塾」を開講しています。世界トップレベルの観光ノウハウを各地に広めている観光カリスマ山田桂一郎氏を塾長に、第一線で活躍されている研究者や実務家を講師に迎えています。



○今日のお弁当

本日のお弁当は「割烹 たか木」さんのお弁当でした。美味しくいただきました。



○次回プログラム

- ◎ 3月20日 (水・祝)・27日 (水) 休会
- ◎ 4月3日 (水) 50周年記念フォーラム
- ◎ 4月10日 (水) 休会
- ◎ 4月17日 (水) 新会員卓話 樫木 正和 君

3月10日(水)～創立50周年記念ゴルフ大会～
白浜ゴルフ倶楽部にて



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか